

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-94531

(P2010-94531A)

(43) 公開日 平成22年4月30日(2010.4.30)

(51) Int.Cl.

A47K 7/00 (2006.01)

F1

A47K 7/00

C

テーマコード (参考)

審査請求 有 請求項の数 1 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2009-294098 (P2009-294098)	(71) 出願人	000240514
(22) 出願日	平成21年12月25日 (2009.12.25)		米山 克
(62) 分割の表示	特願2006-281568 (P2006-281568)		静岡県富士市水戸島元町19-27
	の分割	(74) 代理人	100077735
原出願日	平成18年10月16日 (2006.10.16)		弁理士 市橋 俊一郎
		(74) 代理人	100070323
			弁理士 中畑 孝
		(74) 代理人	100148792
			弁理士 三田 大智
		(72) 発明者	米山 克
			静岡県富士市水戸島元町19-27

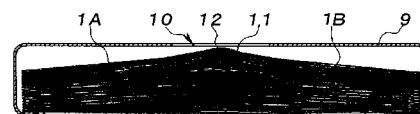
(54) 【発明の名称】 多重腰折ウェットティッシュの連続取出構造

(57) 【要約】

【課題】 容器に収容した腰折ウェットティッシュの連続取出しが容易であり、且つ取出し端の洗浄液の乾燥を有効に防止する多重腰折ウェットティッシュの連続取り出し構造を提供する。

【解決手段】 上部折片3と中間折片4と下部折片5とテール片6とを有する左右腰折ウェットティッシュ1A, 1Bを多重ねして容器9に収容し、上部折片3と中間折片4の腰折部分11を容器9の上部取出口10において上下にオーバーラップし、該オーバーラップ帯域Wにおいて隆起部12を形成すると共に、上記テール片6を下位の腰折ウェットティッシュ1A, 1Bの下部折片5の下面に重ね合わせ、上記隆起部12上に存する腰折部分11を上記上部取出口10を通し摘出する構成とした多重腰折ウェットティッシュの連続取出し構造。

【選択図】 図4



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

左側腰折ウェットテシユーと右側腰折ウェットテシユーとを上下に交互に積み重ねて多重腰折ウェットテシユーを形成し、該多重腰折ウェットテシユーを容器内に収容し、該容器上面で開口する上部取出口より左側腰折ウェットテシユーと右側腰折ウェットテシユーとを交互に取り出すように組み合わせられた多重腰折ウェットテシユーの連続取出し構造において；

上記左側腰折ウェットテシユーは上部折片と、上部折片の右端から第一腰折線を介して上部折片の下面に重ね合わさるよう折り返された中間折片と、上記上部折片の左端から第二腰折線を介して上記中間折片の下面に重ね合わさるよう折り返された下部折片とを有し、該下部折片は中間折片の右端（第一腰折線）を越えて延ばされたテール片を有し；

上記右側腰折ウェットテシユーは上部折片と、上部折片の左端から第一腰折線を介して上部折片の下面に重ね合わさるよう折り返された中間折片と、上記上部折片の右端から第二腰折線を介して上記中間折片の下面に重ね合わさるよう折り返された下部折片とを有し、該下部折片は中間折片の左端（第一腰折線）を越えて延ばされたテール片を有し；

上記左側腰折ウェットテシユーの下部折片の端部とテール片を直下の右側腰折ウェットテシユーの中間折片の下面に重ね合わせ；

同様に上記右側腰折ウェットテシユーの下部折片の端部とテール片は直下の左側腰折ウェットテシユーの中間折片の下面に重ね合わせ；

上記全腰折ウェットテシユーの第一腰折線による腰折部分を上記上部取出口の下方において上下にオーバーラップせしめ、該オーバーラップ帯域に上記多重腰折ウェットテシユーの上面から隆起する隆起部を生成し；

該隆起部及び該隆起部上に支持された最上位の腰折ウェットテシユーの第一腰折線による腰折部分が上記上部取出口の開口面を横切って延在する構成としたことを特徴とする多重腰折ウェットテシユーの連続取出し構造。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は多重腰折ウェットテシユーを容器に収容し、該容器の上部取出口を通じて各腰折ウェットテシユーの連続取出しが行えるように組み合わせられた、多重腰折ウェットテシユーの連続取出し構造に関する。

【背景技術】

【0002】

特許文献 1 とこれに対応する特許文献 2，3 は、最上位の腰折ウェットテシユーの取出し時における、下位の腰折ウェットテシユーの上記取出口外への誘出量を最小限にした多重腰折ウェットテシユーの連続取出し構造を開示している。

【0003】

この発明によれば、上記下位の腰折ウェットテシユーの取出口からの誘出量が限定され、洗浄液の乾燥を有効に防止することができる。

【0004】

然しながら上記取出口から誘出される腰折ウェットテシユーの取出端は薄い単層であるため摘持し難く、又取出し時に該取出端が引き裂かれる懸念を有している。又この単層の取出端は腰が弱く、再び下位の腰折ウェットテシユーの上面に倒れ込み密着してしまい、取出し端を探しながら摘持しなければならない。

【0005】

又特許文献 1 乃至 3 の多重腰折ウェットテシユーは幅が長くなり、これに伴い容器の幅が長くなる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0006】

【特許文献1】特許第2951187号公報
【特許文献2】米国特許第5497903号公報
【特許文献3】欧州特許第0747313号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】

【0007】

本発明は容器の上部取出口からの腰折ウェットテシュアの誘出量を最小限にするか、或いは取出口から誘出することなく取出しが容易に行え、且つ洗浄液の乾燥を有効に防止することができる多重腰折ウェットテシュアの連続取り出し構造を提供する。

【0008】

又本発明は上記目的を達成しながら、強度が大きく嵩高な最上位の腰折ウェットテシュアの腰折部分を容器の取出口において確実に摘持し取出しできるようにした、多重腰折ウェットテシュアの連続取り出し構造を提供する。

【0009】

即ち本発明は左側腰折ウェットテシュアの第一腰折線による腰折部分と、右側腰折ウェットテシュアの第一腰折線による腰折部分が容器の上部取出口の下方において上下にオーバーラップし、該オーバーラップ帯域において上方へ隆起した状態を形成し、該隆起部が上記上部取出口に面して形成されると共に、該隆起部上に上記第一腰折線による腰折部分が支持され、これを摘持し取出しを容易に行うことができる、多重腰折ウェットテシュアの連続取り出し構造を提供する。

【0010】

又本発明は最上位の腰折ウェットテシュアの腰折部分を下位の腰折ウェットテシュアから離間して隆起させ摘持に供するようにした、多重腰折ウェットテシュアの連続取り出し構造を提供する。

【0011】

又本発明は多重腰折ウェットテシュアの幅を縮小し、これを収容する容器の幅を縮小することができる、多重腰折ウェットテシュアの連続取り出し構造を提供する。

【課題を解決するための手段】

【0012】

本発明は、左側腰折ウェットテシュアと右側腰折ウェットテシュアとを上下に交互に積み重ねて多重腰折ウェットテシュアを形成し、該多重腰折ウェットテシュアを容器内に収容し、該容器上面で開口する上部取出口より左側腰折ウェットテシュアと右側腰折ウェットテシュアとを交互に取り出すように組み合わせられた多重腰折ウェットテシュアの連続取り出し構造に係わり、下記のA乃至Gの構成を有する。

【0013】

A：上記左側腰折ウェットテシュアは上部折片と、上部折片の右端から第一腰折線を介して上部折片の下面に重ね合わさるように折り返された中間折片と、上記上部折片の左端から第二腰折線を介して上記中間折片の下面に重ね合わさるように折り返された下部折片とを有し、該下部折片は中間折片の右端（第一腰折線）を越えて延ばされたテール片を有する。

【0014】

B：上記右側腰折ウェットテシュアは上部折片と、上部折片の左端から第一腰折線を介して上部折片の下面に重ね合わさるように折り返された中間折片と、上記上部折片の右端から第二腰折線を介して上記中間折片の下面に重ね合わさるように折り返された下部折片とを有し、該下部折片は中間折片の左端（第一腰折線）を越えて延ばされたテール片を有する。

【0015】

C：上記左側腰折ウェットテシュアの下部折片の端部とテール片は直下の右側腰折ウェットテシュアの中間折片の下面に重ね合わせる。

【0016】

D：同様に上記右側腰折ウェットテシユーの下部折片の端部とテール片は直下の左側腰折ウェットテシユーの中間折片の下面に重ね合わせる。

【0017】

E：上記全腰折ウェットテシユーの第一腰折線による腰折部分を上記上部取出口の下方において上下にオーバーラップせしめ、該オーバーラップ帯域に上記多重腰折ウェットテシユーの上面から隆起する隆起部を生成する。

【0018】

F：上記容器の上部取出口に面する最上位の左側腰折ウェットテシユーの第一腰折線による腰折部分又は同最上位の右側腰折ウェットテシユーの第一腰折線による腰折部分が上記上部取出口の開口面を横切って延在する。

【0019】

G：最上位の腰折ウェットテシユーは第一腰折線による腰折部分を上記上部取出口を通し摘持し、取出しされる。

【発明の効果】

【0020】

本発明によれば、左側腰折ウェットテシユーの第一腰折線による腰折部分と、右側腰折ウェットテシユーの第一腰折線による腰折部分が容器の上部取出口の下方において上下にオーバーラップし、該オーバーラップ帯域において上方へ山形に隆起した状態を形成し、該隆起部が上記上部取出口に面して形成されると共に、該隆起部上に上記第一腰折線による腰折部分が支持された状態を形成するので、各腰折ウェットテシユーの摘持と取出しが極めて容易である。

【0021】

又本発明によれば、容器の取出口に面する腰折ウェットテシユーの腰折部中央部に鼻形の誘出部を形成することができ、該鼻形の誘出部を摘持して容易に取り出すことができる。

【0022】

又上記誘出量を最小限にするか、或いは取出口から誘出することなく、取出端の洗浄液の乾燥を有効に防止することができる。

【0023】

又本発明によれば、最上位の腰折ウェットテシユーの腰折部分は強度が大きく嵩高であり、該腰折部分を容器の取出口において確実に摘持し取出しできる。

【0024】

又本発明によれば、最上位の腰折ウェットテシユーの腰折部分を下位の腰折ウェットテシユーから離間して引き起こし、該引き起こし部を摘持し容易に取出できる。

【0025】

又本発明によれば、多重腰折ウェットテシユーの幅を縮小し、これを収容する容器の幅を縮小することができる。

【図面の簡単な説明】

【0026】

【図1】本発明に係る多重腰折ウェットテシユーを容器内に収容した状態を示す斜視図。

【図2】本発明に係る多重腰折ウェットテシユーを容器内に収容した状態を示す平面図。

【図3】本発明に係る左側腰折ウェットテシユーと右側腰折ウェットテシユーの斜視図。

【図4】本発明に係る多重腰折ウェットテシユーを容器内に収容した状態を示す断面図。

【図5】本発明に係る容器内に収容した多重腰折ウェットテシユーの上層部を示す要部断面図。

【図6】上記左右腰折ウェットテシユーの展開図。

【図7】本発明に係る多重腰折ウェットテシユーの取出し時に形成される取出し端の形態を示す要部断面図。

【図8】本発明に係る多重腰折ウェットテシユーの取出し時に形成される取出し端の他の形態を示す要部断面図。

10

20

30

40

50

【図 9】本発明に係る多重腰折ウェットテシユーの取出し時に形成される取出端の形態を示す平面図。

【図 10】図 9 における取出端の形態を矢視 A 方向から見た断面図。

【発明を実施するための形態】

【0027】

以下本発明を実施するための最良の形態を図 1 乃至図 10 に基づき説明する。図 1, 図 2 は本発明に係る多重腰折ウェットテシユーを容器 9 内に収容した状態を示し、図 3 乃至図 6 は本発明に係る多重腰折ウェットテシユーの折り構造と組み合わせ構造を示し、図 7 乃至図 10 は本発明に係る多重腰折ウェットテシユーの取出し時に形成される取出端の形態を示す。

10

【0028】

本発明に係る左側腰折ウェットテシユー 1 A と右側腰折ウェットテシユー 1 B とは何れも洗浄液を含浸し、表面が湿潤状態にある。

【0029】

上記左側腰折ウェットテシユー 1 A と右側腰折ウェットテシユー 1 B は上下に交互に積み重ね、多重腰折ウェットテシユーを形成しており、該多重腰折ウェットテシユーを、例えば変形可能な耐水性シートから成る容器 9 内に収容し、該容器 9 上面で開口する上部取出口 10 より左側腰折ウェットテシユー 1 A と右側腰折ウェットテシユー 1 B とを交互に取り出すように組み合わせられている。

【0030】

20

左側腰折ウェットテシユー 1 A と、右側腰折ウェットテシユー 1 B は互いに同一の大きさを有する矩形のテシユーに、以下に述べる折り構造と組み合わせ構造を与えたものである。

【0031】

左側腰折ウェットテシユー 1 A は上部折片 3 と、上部折片 3 の右端から第一腰折線 7 を介して上部折片 3 の下面に重ね合わさるよう折り返された中間折片 4 と、上記上部折片 3 の左端から第二腰折線 8 を介して上記中間折片 4 の下面に重ね合わさるよう折り返された下部折片 5 とを有し、該下部折片 5 は中間折片 4 の右端（第一腰折線 7）を越えて延ばされたテール片 6 を有する。

【0032】

30

他方右側腰折ウェットテシユー 1 B は上部折片 3 と、上部折片 3 の左端から第一腰折線 7 を介して上部折片 3 の下面に重ね合わさるよう折り返された中間折片 4 と、上記上部折片 3 の右端から第二腰折線 8 を介して上記中間折片 4 の下面に重ね合わさるよう折り返された下部折片 5 とを有し、該下部折片 5 は中間折片 4 の左端（第一腰折線 7）を越えて延ばされたテール片 6 を有する。

【0033】

上記左側腰折ウェットテシユー 1 A の下部折片 5 の端部とテール片 6 は直下の右側腰折ウェットテシユー 1 B の中間折片 4 の下面に重ね合わせる。

【0034】

同様に上記右側腰折ウェットテシユー 1 B の下部折片 5 の端部とテール片 6 は直下の左側腰折ウェットテシユー 1 A の中間折片 4 の下面に重ね合わせる。

40

【0035】

上記各腰折ウェットテシユーの第一腰折線 7 による腰折部分 11 が上記上部取出口 10 の下方において上下にオーバーラップし、オーバーラップ帯域 W を形成する。

【0036】

即ち右向きの腰折部分 11 と左向きの腰折部分 11 が互いに交叉し、同交叉部に上下方向のオーバーラップ帯域 W を形成する。多重腰折ウェットテシユーは該オーバーラップ帯域 W において上方へ隆起して山形を呈し、該隆起部 12 が上部取出口 10 と対向した状態が形成される。

【0037】

50

上記容器 9 の上部取出口 10 に面する最上位の左側腰折ウェットテシユー 1 A の腰折部分 11 又は同最上位の右側腰折ウェットテシユー 1 B の腰折部分 11 が上記上部取出口 10 の開口面を横切って延在する。即ち上記隆起部 12 が上記上部取出口 10 の開口面を横切って延在し、該隆起部 12 上に上記腰折部分 11 が配置される。

【0038】

上記容器 9 の上部取出口 10 に面する最上位の左側腰折ウェットテシユー 1 A の腰折部分 11 又は同最上位の右側腰折ウェットテシユー 1 B の腰折部分 11 を摘持し、上記上部取出口 10 を通し取出しされる。

【0039】

最上位の左側腰折ウェットテシユー 1 A 又は最上位の右側腰折ウェットテシユー 1 B を除く各腰折ウェットテシユーの腰折部分 11 は、上位の腰折ウェットテシユーの下部折片 5 の端部を介し上下に間接的に重ね合わせられ、他方最上位の左側腰折ウェットテシユー 1 A の腰折部分 11 又は最上位の右側腰折ウェットテシユー 1 B の腰折部分 11 は、下位の腰折ウェットテシユーの腰折部分 11 と上下に直接重ね合わせられる。この全腰折部分 11 が直接的又は間接的に重ね合わせられた状態をオーバーラップ状態と称する。

【0040】

上記左右腰折ウェットテシユー 1 A, 1 B の上部折片 3 と中間折片 4 と下部折片 5 の取出し方向の長さ S1 は互いに略等寸法であり、これに対しテール片 6 の取出し方向の長さ S2 は上記各折片 3, 4, 5 より短い。

【0041】

上記容器 9 は前記の通り、変形可能な耐水性シートから成り、その上部シート 13 に一端から他端に長い取出口 10 が形成されており、上記隆起部 12 と該隆起部 12 上に存する腰折部分 11 は該上部取出口 10 に面して配置され、且つ該上部取出口 10 の開口面を長手方向に横切って延在する。

【0042】

上記容器 9 の上部取出口 10 は上部シート 13 に感圧性接着剤を介して貼り合わせられた閉鎖シート 14 によって閉鎖されており、該閉鎖シート 14 を引き剥がすことによって上部取出口 10 を開放し、上記腰折ウェットテシユーの取出しを行う。

【0043】

本発明における個々の腰折ウェットテシユー 1 A, 1 B におけるテール片 6 及び下部折片 5 の端部は、中間折片 4 の下面に洗浄液を介して比較的強く密着している。同様に、上部折片 3 と中間折片 4 とは洗浄液を介して比較的強く密着し、中間折片 4 と下部折片 5 も洗浄液を介して比較的強く密着している。

【0044】

而して上記洗浄液を介しての密着状態において、最上位の左側腰折ウェットテシユー 1 A、又は同右側腰折ウェットテシユー 1 B の腰折部分 11 を摘持して上部取出口 10 より取出した場合、最上位の腰折ウェットテシユーのテール片 6 と液体を介して密着する下位の腰折ウェットテシユーの腰折部分 11 が、図 7, 図 9, 図 10 に示すように、上部取出口 10 の外方に僅かに誘出される。

【0045】

使用者はこの腰折部分 11 の鼻形の取出端 15 を摘持して次回の取出しを容易に実行できる。

【0046】

又は最上位の腰折ウェットテシユーのテール片 6 と液体を介して密着する下位の腰折ウェットテシユーの腰折部分 11 が、図 8 に示すように、下位のウェットテシユーの上部折片 3 から離間して引き起こされる。使用者はこの腰折部分 11 の取出端 15 を摘持して次の取出しを容易に実行できる。

【0047】

詳述すると、最上位の腰折ウェットテシユーのテール片 6 は直下の腰折ウェットテシユーの中間折片 4 と水分密着しており、この状態で最上位の腰折ウェットテシユーの腰折部

10

20

30

40

50

分 1 1 を摘持して取出した場合、図 9、図 10 に示すように、テール片 6 が水分密着力により中間折片 4 を誘引し、この誘引力により中間折片 4 と上部折片 3 を上部取出口 10 の長手方向の中央部へ向け変位させつつ、該取出口 10 に面する腰折部分中央部に鼻形に隆起する取出端 1 5 を形成する。

【0048】

取出しに供される腰折部分 1 1 は常に腰折部分 1 1 のオーバーラップ帯域 W に形成された隆起部 1 2 上に配置されるので、上記取出端 1 5 と協働して取出しを更に容易にする。

【0049】

仮に上記鼻形の取出端 1 5 が十分に形成されない場合でも、隆起部 1 2 上に配置された腰折部分 1 1 は摘持し易く取出しが容易である。

【0050】

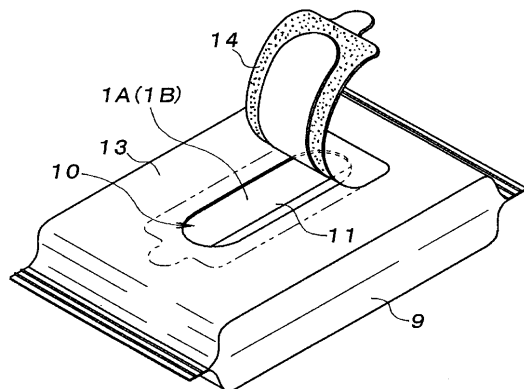
本発明によれば、腰折ウェットティッシュの連続取出しが極めて容易であり、且つ取出し端の洗浄液の乾燥を有効に防止することができる。

【符号の説明】

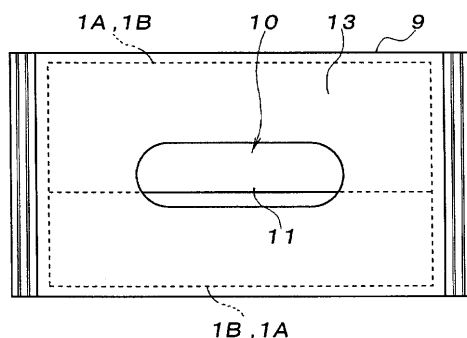
【0051】

1 A …左側腰折ウェットティッシュ、1 B …右側腰折ウェットティッシュ、3 …上部折片、4 …中間折片、5 …下部折片、6 …テール片、7 …第一腰折線、8 …第二腰折線、9 …容器、10 …上部取出口、11 …腰折部分、12 …隆起部、13 …上部シート、14 …閉鎖シート、15 …取出端、W …オーバーラップ帯域、S1 …上部折片、中間折片、下部折片の取出し方向の長さ、S2 …テール片の取出し方向の長さ。

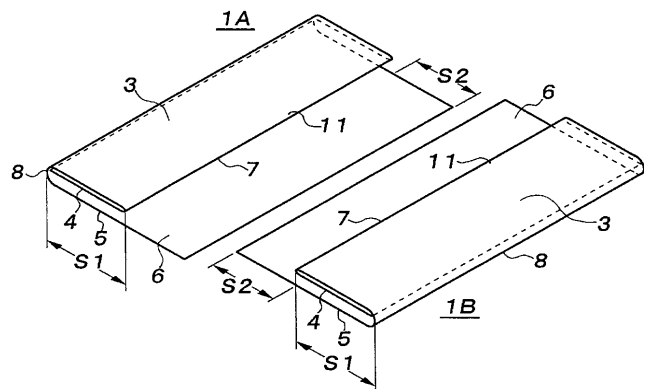
【図 1】



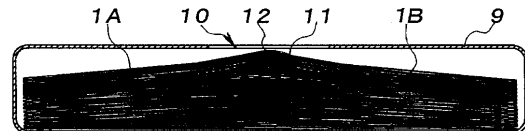
【図 2】



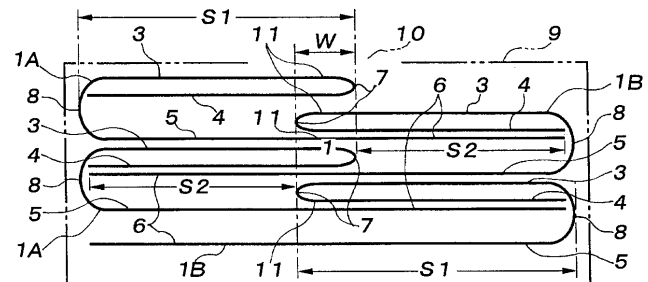
【図 3】



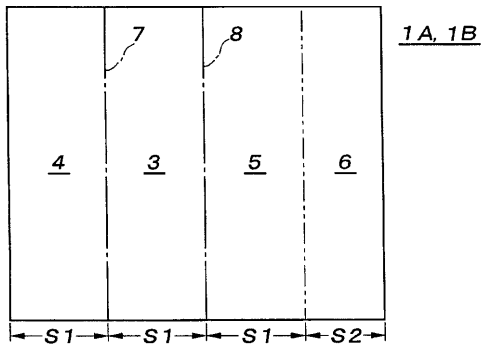
【図 4】



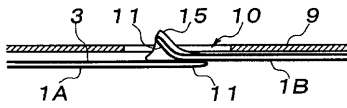
【図 5】



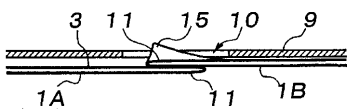
【図 6】



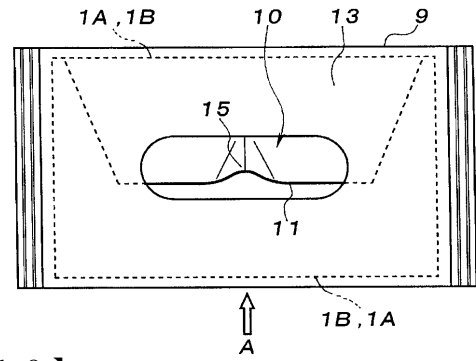
【図 7】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

